

住まいが被害を受けたとき 最初にする事 ～写真撮影～

災害で住まいが被害を受けたとき、まずやっておきたい重要なことがあります。

家の被害状況を写真に撮っておくことです。

市区町村から罹災証明書(りさいしょうめいしょ)を取得して支援を受ける際や、ご自身の加入保険会社に保険請求する際などに役に立ちます。

被災場所での撮影のポイント

家の外の写真の撮り方

- ・なるべく4方向から撮る。
- ・浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮る。
- ・被害箇所の「遠くから」と「近くから拡大」の写真を撮る。

※メジャーなどをあてて「遠くから」と「近くから拡大」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

家の中の写真の撮り方

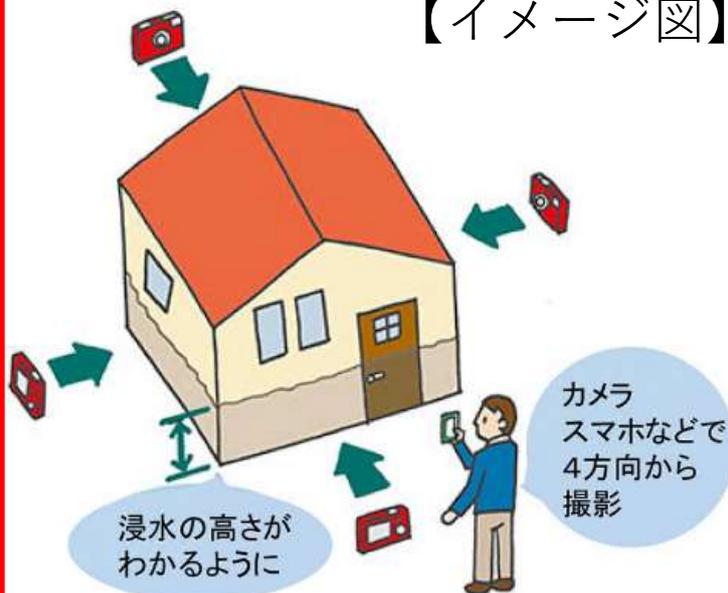
家の中の被害状況写真は、

- ①被災した 部屋ごとの「遠くから」の全景写真
 - ②被害箇所の「近くから拡大」の写真
- ①②それぞれ撮る。

<想定される撮影箇所>

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

【イメージ図】



【イメージ図】

